

キッズみんなの日記

10月号

最近、残念なことに日記の提出を怠っている塾生が同じ顔ぶれになってきました。減点するのは好みませんが、やむを得ず今月より、提出を忘れた場合には厳密にポイントを引くことにしました。宿題忘れは一回につきマイナス10ポイントです。

また、提出はしても、明らかに手を抜いたことがわかる日記もあります。皆さんの日記を楽しみにしている私や他の添削者にとって、とても悲しい出来事です。野球の素振りをするとき、フォームも気にせず、力も入れず、そこに気持ちがないとしたら、果たしてバツティングは上手くなるでしょうか……。日記も同じ事です。事実、毎回、一生懸命日記を書いている塾生は着実に力をつけています。そうでない塾生とは、どんな差が開いています。

忘れないでください。私たちは減点をしたいのではありません。みなさんの作文力が向上するよう応援したいのです。その励みとなるよう、ポイントをあげたいのです。罰があるからやるのではなく、大切なことに自分で気づいてほしいと願っています。(市澤)

優秀作品紹介

★初級者(一・二年生)の部★

『みいちゃんとおそんだ』

きょう、がっこうのろうかで、みいちゃんとおそんだ。みいちゃんが、○○○(※作者名をひばって)くれた。たのしかったです。あしたもやりたいです。

(小一・MAさん)

だれと、どこで、どんな遊びをしたのがきちんと書かれていますね。「あしたもやりたい」と素直な言葉で表現することで、Aちゃんがどのくらい楽しかったのがよくわかります。上手に書きました。

『ピクニック』

きょう、お友だちとピクニックをしました。私のお家のちゅうしゃじょうでやりました。

お父さんが、おべんとうを作ってくれました。ワインナーでさかなやひよこを作ってくれました。ごはんがモチモチしていておいしかったです。ワインナーもパリパリしたのでほべたがおちそうでした。きょうのおべんとうはさいこうにおいしかったです。

(小二・WMさん)

お父さんの作ってくれた愛情弁当素敵ですね！「モチモチ」「パリパリ」などの擬態語を使うことで、読み手にもおいしさを上手に伝えていきます。「ほっぺがおちそう」という表現もかわいらしい。グルメリポーターも脱帽！というくらい見事な感想でした。

★★中級者(三・四年生)の部★★

『りょうり』

今日、お母さんと一しょにタコサラダを作りました。私は、タコを切るのが初めてなのでときどきききました。きつてみたらとてもかたかったです。めだまやきは、はじめてなのでしばいしてしまいました。でも、食べたらおいしかったです。またやっつて、もっとうまくになりたいです。(小三・OHさん)

初めて挑戦する「ドキドキ感」を素直に表現しています。初めはだれでも、うまくはいかないものです。よね。それでも、ちゃんと美味しくできたこと、「もっと料理をして、うまくなりたい」という前向きな一文でしめくくっているところが上手いですね。Hちゃんは、きつとお料理上手になりますね！

『お父さんのレース』

九月十三日にお父さんの自転車のレースがあった。お父さんが走った自転車は、マウンテンバイクだ。お父さんが受付に行った後、ぼくもいっしょにし走し走した後、ぼくはどろにはまったりしたからいやだと思っただけ、楽しかった。その後、レースが始まった。ぼくは、お父さんのおうえんをした。

お父さんは優勝できなかったけどかっこよかった。それに、お父さんはとても楽しそうだった。僕は、そのレースを見てぼくも走りたかった。

(小四・KY君)

レースを終えたお父さんをよく見ていますね。お父さんに対する、「尊敬」や「憧れ」の気持ちをとても上手に表現しています。お父さんのように自分も走ってみたい！というY君もかっこいい！

★★★★上級者(五・六年生)の部★★★★

『運動会』

運動会で六年生と五年生でソーラン節をおどります。五年生は初めてなので、六年生が教えます。私が教える子は、知っている友達なのでよかったです。先生が、

「六年生見本！」

と言うときは、すぐドキドキしておどります。少しでもまちがえたら、とてもはずかしいからです。

五年生の人たちは、とても覚えるのが早く、ソーラン節を二日で三分の一くらいは終わり、明日で全部終わります。とても楽しみです。運動会本番は、間違えないでがんばりたいです。(小六・HAさん)

最高学年としての責任感がとてもよく伝わってきます。Aちゃんの誠実な人柄を表していますね。自分が教えているときの心情、教わっている五年生の踊りの上達具合などをとても明確に表現しています。このように、自分のことだけでなく、相手の様子を書くことで読み手の視界が広がります。見習いたいテクニクですね！

伊藤先生のおすすめ本

こぎつねコンチ
のら書店
中川李枝子 作・山脇百合子 絵
あの有名な「くりとくら」の作者コンビが贈る心あたたまる12話。春夏秋冬をこぎつねコンチと一緒に感じられる1冊！

★★中級者★★

車のいろは空のいろ白いぼうし

ポプラ社
あまんきみこ 著/北田卓史 行舟
男の子が帽子の中のちょうろを迷がひてしまった。運転手の松井せんがちょうろの代わりに思いついたものとは…

★★★★上級者★★★★

源平の風(白狐魔記1)

偕成社
斎藤 洋 著/高畠 純 イラスト
仙人狐、白狐魔丸。彼が日本史上の事件や英雄たちと遭遇し、なぜ人間同士が殺し合うのかという問いの答えを探す大河ファンタジー。